

トップセミナー【社会福祉協議会編】

開催要綱

趣旨 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、地域の福祉課題は多様化・複雑化しています。

本研修は、社会福祉協議会が地域の福祉課題の解決に取り組むため、これからの社協活動のあり方を学び、具体的な展開を考えることを目的に開催します。

開催形式

集合

対象

社会福祉協議会の役員（理事・評議員・監事）、管理・指導的立場の職員等

日程・会場

令和6年10月23日（水）
かでの2. 7 1階 かでのアスビックホール
（札幌市中央区北2条西7丁目1番地）

研修費用

道社協会員事業のため無料
※非会員が受講申込する場合は、12,000円を申し受けます。

申込期間

令和6年8月1日（木）～令和6年9月3日（火）

受講可否

令和6年9月11日（水）までにご連絡します。

※本研修の翌日（10月24日）に、「市町村社協事務局長連絡会議」が開催されます。
（道社協地域福祉課より別途ご案内予定）

プログラム

時間	研修科目	研修内容
10 : 00～10 : 45	受付	研修費用の支払い
10 : 45～11 : 00	開会・オリエンテーション	日程、資料等の確認
11 : 00～12 : 30 (90分)	<p>講義 「社会的孤立の解消に向けた社協の役割について」</p> <p>牧里 每治 氏 関西学院大学 名誉教授</p>	<p>社会福祉協議会（以下、社協）は、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指しています。</p> <p>ひとり暮らし高齢者やひきこもり、ヤングケアラーなど、地域における孤独・孤立の深刻化が懸念される現在において、孤独・孤立の現状から地域社会に求められる支援について学び、社協としてどのように地域住民や施設・事業所、民間企業と連携・協働し、支援を進めていくべきか考えます。</p>
12 : 30～13 : 30	昼食／休憩	
13 : 30～15 : 30 (120分)	<p>シンポジウム 「社会的孤立の解消に向けた取り組み事例について」</p> <p>【コーディネーター】 牧里 每治 氏 関西学院大学 名誉教授</p> <p>【シンポジスト】 報告者（各20分）</p> <p>◇相談・就労支援の取組みと課題 伊那市社会福祉協議会(長野県) 地域福祉課 生活相談係 係長 中村 正人 氏</p> <p>◇ケアラー、ヤングケアラーへの支援体制強化と今後の展望 那須塩原市社会福祉協議会(栃木県) 地域福祉課 地域支援係 相談支援包括化推進員 柴田 直也 氏</p> <p>◇重層的支援体制整備事業における取組みと課題 七飯町社会福祉協議会(北海道) 主任コーディネーター 丸山 恵司 氏</p>	<p>講義を踏まえ、社会的孤立の解消に向けた地域住民や施設・事業所、民間企業との連携・協働による支援活動の実際について学び、これからの社協活動の具体的な展開について考えます。</p>
15 : 30	閉会	